

# CHC <Color harmony chart>

カラー・ハーモニー・サークルとは、PCCSの24色相環を基準に色相の差による配色形式を示したものです。

## 使い方

カラー・ハーモニー・サークル(以下CHCと略す)と、24色相環を切り取ります。

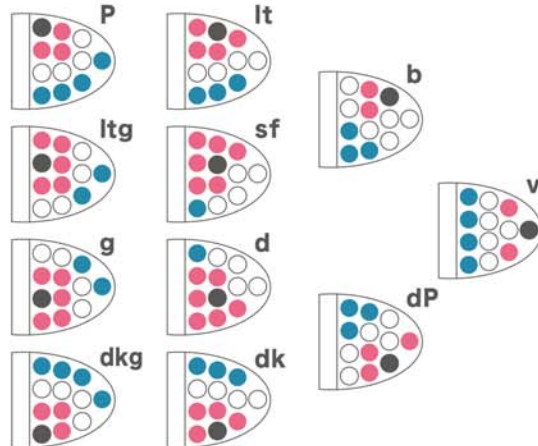
- 24色相環上から基準となる色を1色えらびます。(ここでは2:Rを例として説明していきます。)
- 選んだ2:Rの位置上にCHCの色相差0=同一が合うように乗せます。ここで2:Rの同一色相配色は色相記号が2:Rということがわかります。



- 次に色相環とCHCはそのままの状態では色相差2~3=類似を見ます。色相環は色相記号4:r0, 5:0, 23:rP, 24:RPの位置を示しています。この4つの何れも2:Rの類似色相配色ということがわかります。
- 同じように見ていくと、2:Rの色相差12=補色相配色は14:BGとなります。

このようにCHCは24色相から選んだ1色を基準とし、その上にCHCを合わせることで簡単に色相の配色を理解することができる便利なツールです。

切り取ってご使用ください。



## トーンをもとにした配色

トーンを基準に配色をしてみましょう。

- 同じトーンの中から色を選びましょう。
- トーン図で隣り合うトーンの中から色を選びましょう。
- トーン図で離れた位置にあるトーンの中から色を選びましょう。

<各トーンの類似、対照の関係>

- : 基準になるトーン的位置
- : 類似トーン
- : 対照トーン

# 色の見え方とイメージ

色にはそれぞれにイメージがあります。「イメージ」という言葉は「印象」「雰囲気」「感じ」というような言葉で置き換えることもできます。また、いくつかの色を組み合わせると、そのイメージがより強くなったり複雑なニュアンスをもたったりして、単色のときは異なったイメージをかもし出します。まずは色相とトーンについて色のイメージを確認してみましょう。

色	連想すること、印象
赤	熱い・くどい・げげげばしい・暖かい・女性的・活動的・情熱的・愛・夏
橙(オレンジ)	暖かい・陽気・楽しい・元気・暑い・目立つ・まぶしい・夏
黄	元気・楽しい・きれい・目立つ・うれい・うるさい・注意・危険・夏
黄緑	さわやか・すがすがしい・柔らかな・若い・軽い・元気・落ち着く・春
緑	さわやか・若い・みずみずしい・元気・平和・安心・安全
青緑	やさしい・子供っぽい・自然・落ち着いた
青	冷たい・深い・寒い・かたい・クールな・さわやか・静かな・潜んでいる・重い
紫	高貴・大人っぽい・くどい・あやしい・げげげばしい・きつい・知的な・上品な
ピンク	柔らかい・やさしい・かわい・淡い・幼い・子供らしい・暖かい
茶	暖かい・落ち着いた・暗い・濁った・大人っぽい・重い・渋い
ベージュ	柔らかい・落ち着いた・はつきりしない・やさしい・寂しい・薄い・地味な・軽い・ぼんやり

※色見本を示して、連想することや印象について、自由回答を求めた調査結果(財団法人日本色彩研究所編「新編カラーレンジマニュアル100」より)

## 色相による色のイメージ

色相ごとにそれぞれ違ったイメージがあります。色相によるイメージの違いは、彩度が高くなるほど強くなります。色相によるイメージは、地域や人によって異なることがありますが、色相による暖寒の感じ方の違いは多くの人に共通する心理的効果といえます。色相ごとのイメージはトーンによって異なりますが、鮮やかな色を含む、主色のイメージの調査データを右表に示します。

## トーンのイメージ

それぞれのトーンごとにイメージがあります。同じトーンの色は色相は変わっても、そのトーンの持つ共通したイメージがあります。トーンごとのイメージは右上図のようになります。なお、彩度が高いトーンは色相の違いによるイメージの違いが強く、彩度の低いトーンほど色相の違いによるイメージの違いは弱くなります。

## 色相とトーンによる色の表し方

PCCSでは色を色相とトーンで表すことができます。たとえば色相番号が2番でライトトーンの場合には「1,12」と表します。無彩色の場合には色相がないので白はW、黒はBkというように表しますが、グレイについては、11Gy, mGy, dkGyというようにトーン名で表す他に、Gy-2.5, Gy-3.5というようにGyの後に明度を示す数字を付けて細かく表すこともあります。また、左図のように色相環での位置とトーン分類図での位置の略図で表すこともできます。

この略図での表し方によって、配色に用いたそれぞれの色の関係を理解することができるようになります。

## PCCSのトーン分類・トーンのイメージ

